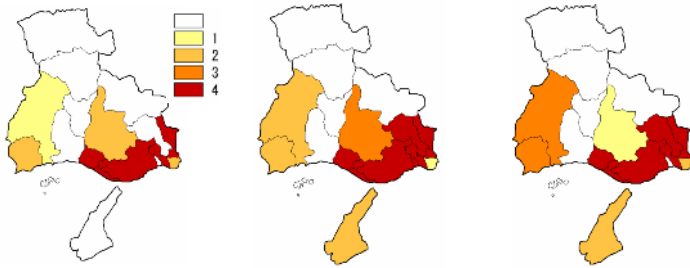


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

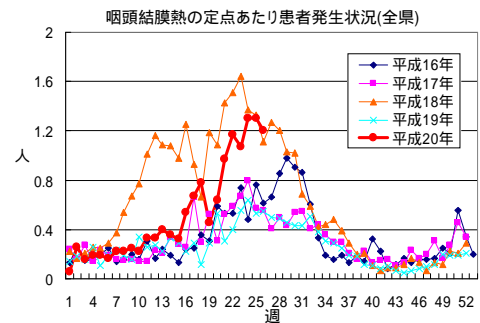
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

咽頭結膜熱

今週患者数は減少しましたが、大きな流行をみせた一昨年並に多い患者数となっています。もうしばらく患者数の多い状況が続くと予想されます。依然として阪神地域から東播磨地域にかけての報告数が多くなっています。



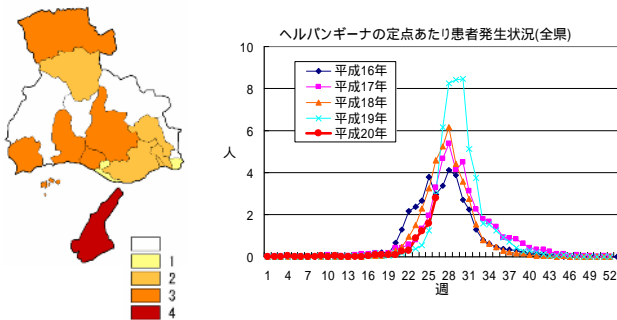
24 週 (6/9 ~ 6/15) 25 週 (6/16 ~ 6/22) 26 週 (6/23 ~ 6/29)



その他の感染症の概況

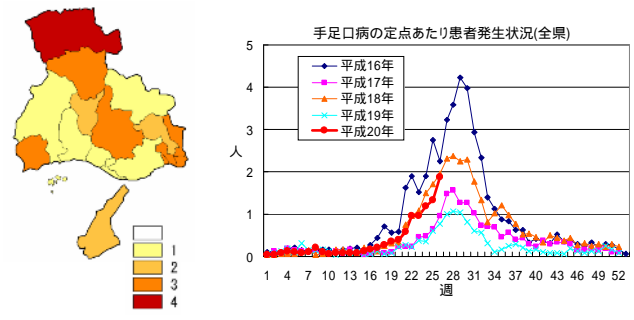
ヘルパンギーナ

報告患者数の増加が続いています。まもなくピークを迎える代表的な夏型の感染症です。今週、洲本保健所管内で大きく増加しました。



手足口病

今週も報告患者数が増加しました。代表的な夏型の感染症であり 7 月をピークに 8 月頃まで多い時期が続きます。豊岡保健所管内で報告数が多くなっています。



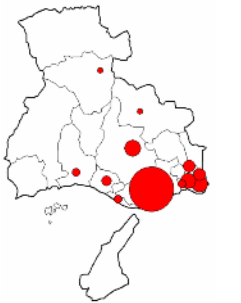
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	5.20	5.57	- 0.37	6位	水痘	1.17	1.83	- 0.66
2位	ヘルパンギーナ	2.81	1.57	+ 1.24	7位	流行性角結膜炎	0.77	0.77	± 0.00
3位	手足口病	1.88	1.34	+ 0.54	8位	突発性発しん	0.76	0.64	+ 0.12
4位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.74	1.64	+ 0.10	9位	流行性耳下腺炎	0.53	0.57	- 0.04
5位	咽頭結膜熱	1.20	1.30	- 0.10	10位	無菌性髄膜炎	0.20	0.00	+ 0.20

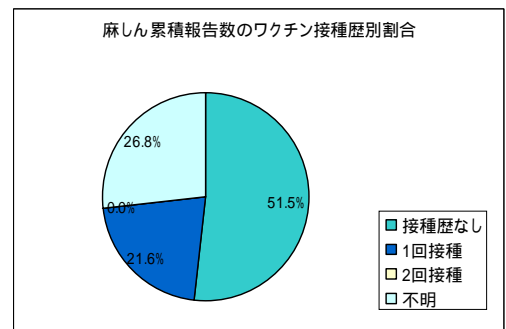
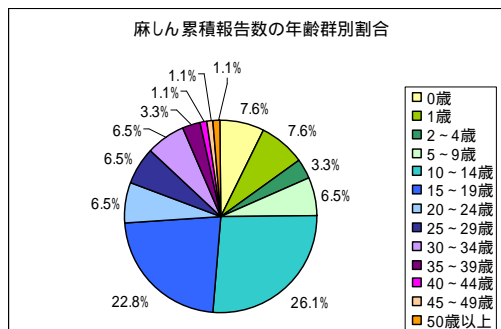
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 19名 （神戸市7名、尼崎市3名、西宮市2名、伊丹保健所管内2名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内2名、赤穂保健所管内1名、豊岡保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 8名 （神戸市4名；0157 VT1+VT2+ 3名、026 VT1+ 1名、尼崎市1名；0157 VT2+,伊丹保健所管内1名；0157 VT1+VT2+,宝塚保健所管内1名；0157 VT1+VT2+,柏原保健所管内1名；0157 VT2+）
4類感染症	A型肝炎 2名 （姫路市、明石保健所管内/海外渡航者）
5類感染症	アメーバ赤痢 2名 （西宮市、加古川保健所管内） 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア） 麻しん 4名 （神戸市1名；50歳/臨床診断/ワクチン接種歴不明、尼崎市1名；28歳/検査診断/ワクチン接種歴無、西宮市1名；21歳/臨床診断/ワクチン接種歴不明、社保保健所管内1名；18歳/検査診断/ワクチン接種歴有）
追加報告	結核 6名 （姫路市1名；第22週、伊丹保健所管内2名；第22週、第25週、加古川保健所管内1名；第23週、柏原保健所管内2名；第24週、第25週） ウイルス性肝炎 1名 （龍野保健所管内；第25週/B型） 梅毒 1名 （神戸市；第25週/無症候） 麻しん 1名 （西宮市；第18週/15歳/臨床診断/ワクチン接種歴無）

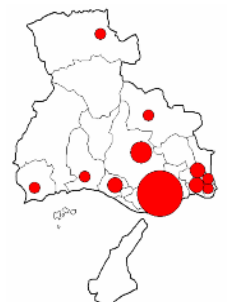
麻しん 今週4名の報告がありました。第26週現在、兵庫県における麻しんの累積患者数は97名となっており、うち約半数が10歳から19歳の年齢群からの報告となっています。地域別には神戸市をはじめとする阪神間からの報告が多くなっています。麻しんは例年春季から夏季に発生報告数が増加する感染症で、接触感染、飛沫感染、空気感染などの経路で感染します。有効な予防方法はワクチンの接種であり、第1期（1歳時）、第2期（小学校就学前の1年間の者）の2回接種が各市町村にて行われています。また、2008年4月1日より5年間の期限付き措置として、第3期（中学校1年生相当年齢）、第4期（高校3年生相当年齢）の定期予防接種が始まっています。感染予防のために、麻しん未罹患、ワクチン未接種、1回のみ接種の人は、ワクチンの接種が勧められます。



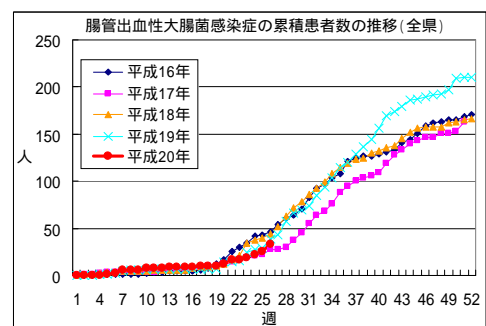
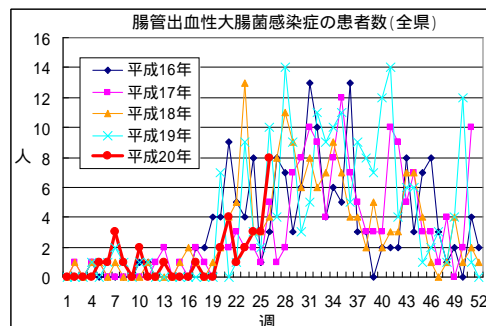
1～26週の累積患者数による



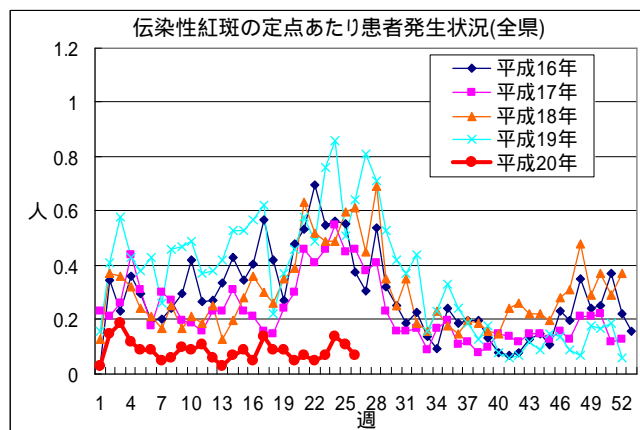
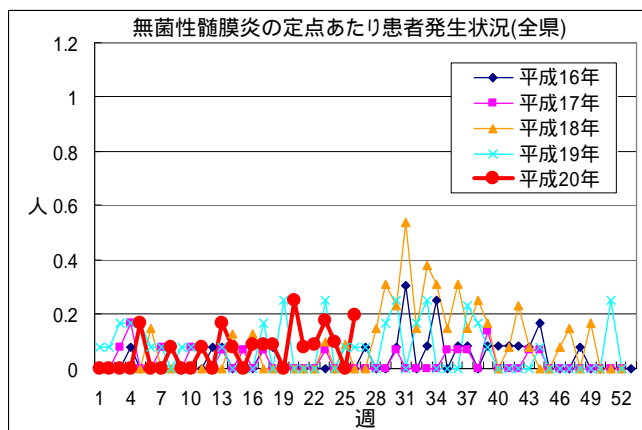
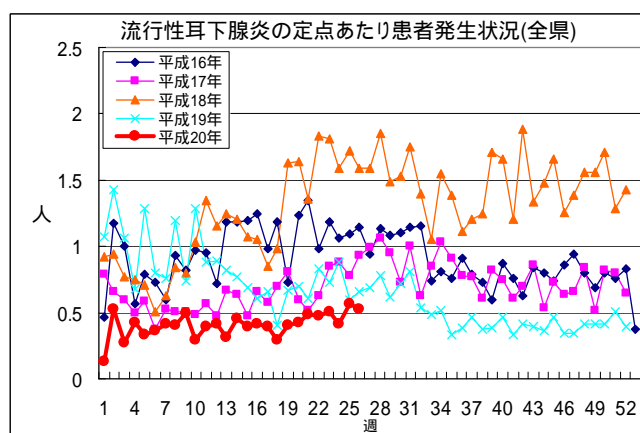
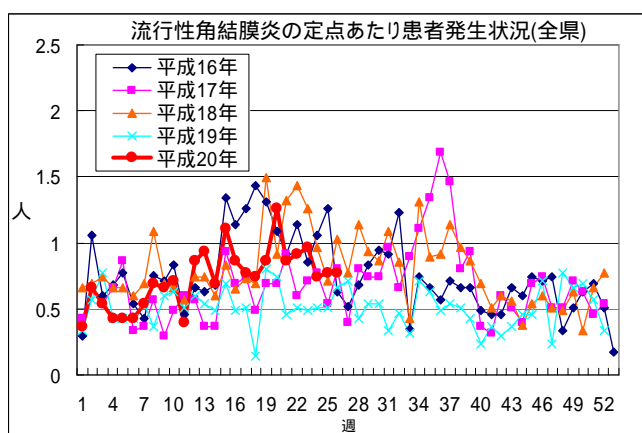
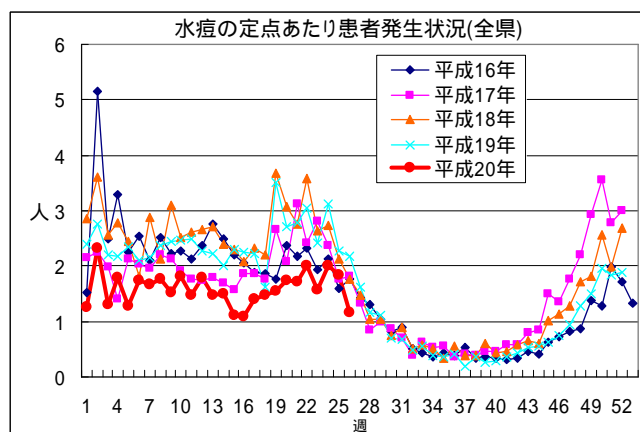
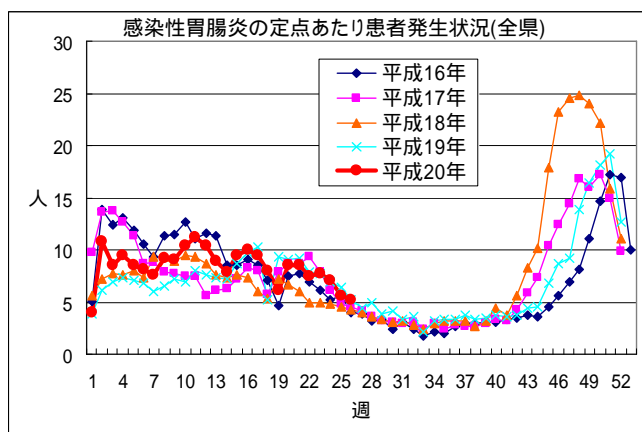
腸管出血性大腸菌感染症 梅雨の時期となり、腸管出血性大腸菌感染症（いわゆる0157）や食中毒などが多発する季節となっています。今週は8名の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり大きく増加しました。25週現在の累積報告数は33名でそのうち約半数が神戸市からとなっています。報告数は例年並ですが、今後の増加に注意が必要です。



1～26週の累積患者数による



目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。